

香曾我部義則先生の今月のカルテ ③

慢性痛とペインクリニック

体の痛みと戦い、悩む毎日に一筋の光を当てるペインクリニックとは一体どんな治療法なのかを、梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が分かりやすく説明してくれるこのコラム。第7回のカルテは「帯状疱疹(ほうしん)〈その1〉」です。

ぎっくり腰(急性腰痛)動きの中でも起こりまに腰掛けることも、立痛症)は重いものを持す。私の場合は本棚が上がることも困難でち上げたり、腰をひねら本を取ろうと手を伸動く度に腰に激痛が走るといった急な動作によって生じることが多く、急激な痛みを感じ、動けなくなることもしばしばです。運動中に起る場合がありますとも言えない嫌な感じが、ささいな日常的なが走り、その後はいす

ぎっくり腰には椎間関節ブロックが非常に効果的

ばした瞬間、腰になりました。これは腰椎(ようつこの関節を傷めるとささいな動作でも関節部を強く刺激することにな

の関節を傷めるとささいな動作でも関節部を強く刺激することにな

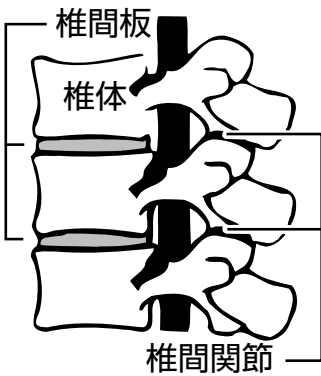
に無理な力が加わり組織が一次的に傷付くために痛みを起すと考えられています。椎間関節は椎体を後ろ側でつなぐ関節(図参照)の圧痛や腰部脊(せき)柱起立筋の張りや痛みで腰を支えるだけでなく動かすための重要な部分です。そのためこす。

ります。動きはじめると痛い、寝返りや、立ち座りの際に痛みがある、起き抜けに痛みが強いといった特徴をもつ痛みが現れます。腰以外に大腿(たい)前面に痛みを伴うこともありますが、下腿に痛みが及ぶことは通常なく、腰回りが痛みの中心です。椎間関節部の圧痛や腰部脊(せき)柱起立筋の張りや痛み治療が必要となります。以上のような方法を駆使しても効果が一時で、痛みが続く場合は高周波熱凝固法といった新しい治療法を用いれば長期間の除痛が期待できます。高周波熱凝固法については次回、このコーナーで説明します。



香曾我部義則先生

プロフィール こうそかべ・よし のり 昭和54年3月岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て今年4月1日から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属



治療は安静が一番と透視下ブロック(レントゲンテレビを見ながら)という方法で行えばより安全で確実な効果が期待できます。一回のブロックで痛みを消失させることも可能。ただし、椎間関節

問い合わせ先 ☎(293) 3355(代) 日本ペインクリニック 認定施設 梶木病院(西花尻1231-1)